



サービス連合の「10万人組織へのプロセス」に基づく2013年度からの4年間の目標「組織人員50,000人」達成にむけて、2015年度も各加盟組合において様々な取り組みが行われてきました。加盟組合がご尽力いただいた結果として関連企業の新規労組結成、また、労働相談からの労働組合結成により新たな仲間が加わりました。

そこで、各加盟組合における今後の組織拡大の取り組みの一助となるよう、当該組合のご協力により組織拡大の取り組み事例を紹介いたします。それぞれの加盟組合においてサービス・ツーリズム産業労働者の社会的地位向上と労働条件の維持・向上をはかるため、同じ産業で働く仲間の総結集の必要性を改めてご理解いただき、更なる組織拡大に引き続きご協力をよろしくお願ひします。

## BE WIDE ORGANIZATION～2015年度 組織拡大事例～

### 新たな労働組合が結成！



JTBグループ労働組合連合会

## JTB札幌ビジネスセンター労働組合

JTBグループ所属の㈱JTB札幌ビジネスセンターは、グループ各社における支店会計業務や給与計算業務、各種データ入力業務など、JTBグループのプラットフォームとしてグループ全体の業務効率化を図っています。

JTBグループ労働組合連合会（以下、JTBグループ労連）では、これまで中期運動方針において組織人員の明確な到達目標を掲げ、関連未組織企業の組織化支援に取り組んできました。

JTB札幌ビジネスセンターの組織化については、2015年5月の北海道エリアにおけるJTBグループ労連主催の意見交換会に社員代表が参加したことをきっかけに、2015年7月から9月にかけて定期的な勉強会を開催し、労働組合の必要性や目的についての認識の共有や情報の収集などの取り組みを継続的に行いました。その後、労働組合が必要だと考えるおよそ15名のメンバーを中心とした「労働組合結成準備委員会」がJTB札幌ビジネスセンター内に立ち上がり、“どういった活動を目指すべきか”“どういった組織を作るべきか”“どういった運営ルール・協議ルールを作るべきか”などについて具体的に議論を重ねました。準備委員会は、およそ2ヵ月で議論をまとめ、2月下旬より従業員を対象とした説明会を開始しました。およそ3週間にわたり準備委員会が中心となり、従業員に対して粘り強い加入活動を行った結果、準備委員会の想いがつつじ、対象者全員の同意を得て、2016年3月29日「JTB札幌ビジネスセンター労働組合（江口路子委員長・組合員220名）」が結成され、サービス連合の新たな仲間として加わることとなりました。



JTB札幌ビジネスセンター労働組合執行部の皆さん



# 労働相談から労働組合を結成！

## 山六給食労働組合

山六給食(株)は、大田区・江戸川区・川崎市における学校給食事業を主体に、弁当製造や郵便局内における従業員食堂の運営受託も行っています。

2015年7月、時間外労働の不払いや有給休暇が取得できないことなど、職場における労働環境について疑問を持っていた学校給食部門の有志メンバーが、連合東京への労働相談をきっかけにサービス連合と話し合いを重ね、4名のメンバーによって「山六給食労働組合結成準備委員会」を立ち上げました。その後、複数回にわたり勉強会を開催し、労働組合の必要性や結成後の活動内容などについて議論し、同時に同じ職場で働く仲間たちへの加入活動を行うなど、精力的に活動した結果、「山六給食労働組合（椎葉紀彦委員長・組合員6名）」が結成され、サービス連合の新たな仲間として加わることとなりました。

結成大会で椎葉紀彦委員長は、「山六給食労働組合が真に従業員の代表として、会社が抱える諸問題について会社と対等に協議し、より良い労働環境の向上にむけ取り組むとともに、更なる組織拡大にむけた取り組みを強化し、組合と会社の発展に努力していきたい」と熱く決意表明しました。



山六給食労働組合執行部の皆さん



勉強会の様子



結成大会の様子

サービス連合では、今回ご紹介した加盟組合における組織拡大にむけた取り組みの事例共有や資料提供をはじめ、加盟組合の会議などに参加し組織拡大の意義について説明するなどし、加盟組合の組織拡大にむけた取り組み支援を行っています。

各組織においても、さらなる組織拡大を目指し、サービス連合全体で取り組みましょう。

